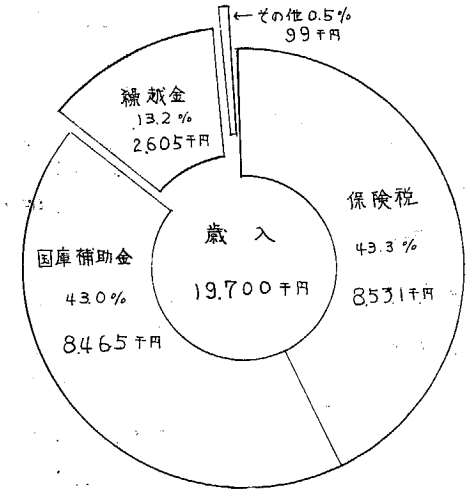
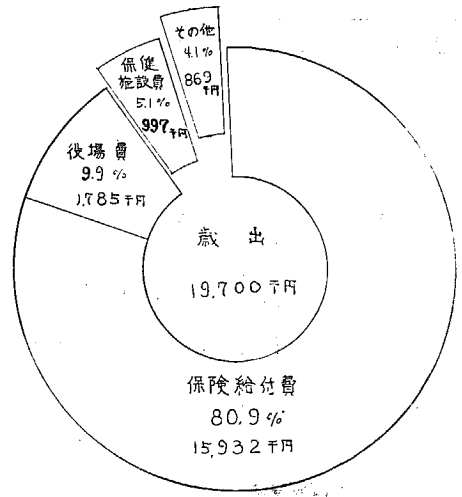
国民健康保険（特別会計）予算は

総額の80.9％が保険給付費

昭和37年度岩室村国保（特別会計）予算をご紹介いたしましょう。ご承知のように国民健康保険は皆さんの疾病，負傷，出産または死亡に関して必要な保険給付を行なうものでありまして常に動きのある給付費を適確に推計することが予算編成の基礎であり，この推計の適否如何によつて，予算全体に及ぼす影響は極わめて大で支出経済が収入経済を支配するという他の会計と異なる特殊性があるわけであります。国保事業の円滑な運営のでき得ますよう皆さんの積極的な御協力をお願いいたします





招魂祭は

六月十日と六月二十一日

日清、日露の戦をはじめ大東亜戦争までの数々の戦に倒れた英霊をまつる招魂祭が和納地区は六月十日、岩室、間瀬地区は六月二十一日それぞれ行なわれます。

和納地区は午前十時から、八幡神社境内の忠魂碑前で祭典が行なわれ、引続いて和納小学校で遺族の会食、午後一時から演芸。手おどり、手品その他数々の余興があります。

岩室、間瀬地区は、二十一日午前十時から、岩室招魂社前で祭典をあげ、引続いて岩室西小学校で遺族の会食、午後一時から和納同様の演芸が行なわれます。

終戦後すでに十七年、戦いの傷あともなおつてとかく戦没者や、遺族のことは忘れられ勝ですが、杖とも柱とも頼む夫を奪われ、子供をかかえて日夜懸命の努力を続けている人。大切なせがれを取られて、現在なお老体にムチ打って生活を続けている人のあることを思いおこし、年一度の招魂祭には遺族と共に、戦没者の霊を慰め、二度と戦争をおこさないよう誓いましようう。各位多数の参拝をおねがいします。

一戸に一人は赤十字社員に

毎日毎日どこかで起っている災害や事故に今日も赤十字のマークを先頭に救援の手がのべられています。赤十字は博愛と、人道精神により、特定の勢力に左右されず全国民から社員となって組織していただく厳正中立の団体です。

今年も近く赤十字社費を納めていただくよう準備をすすめています。納められた社費は、災害医療救護や一軒の災害の救護に至るまで、すべての赤十字事業の貴い財源となります。

まだ社員になっていない方もぜひ社員になっていただいて、一戸に一人はみんなが社員に加入して下さるようお願いします。

赤十字社員に加入された方には表札をおとどけします。

日赤だより

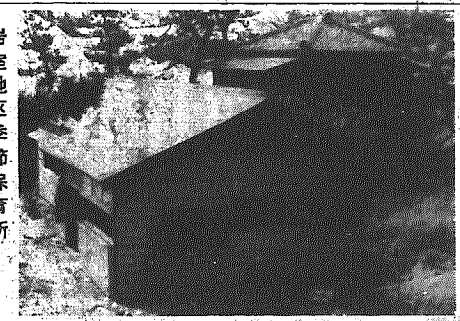
五月二十一日全焼した南谷内の佐藤清一郎さん（日赤社員）に日本赤十字社新潟県支部から、毛布二枚、晒二反、タオル二本、チリ紙一束が火災御見舞品として贈られました。

御寄贈ありがとう

間瀬地区季節保育所

北海道釧路市幸町に住む田中源治さんから、宅地を一六〇坪と家屋一棟を季節保育所に利用してほしいと間瀬の区長さん方を通して寄附されました。

今までお寺を借りていましたが、近く改修工事が完成すると独立した保育所ができます。母も子も大喜び。田中さんどうもありがとう。



岩室地区季節保育所

石瀬の渡辺昌二さんから螢光灯をいただき、おかげさまで保育室も子供たちの顔も明るくなりました。

和納地区季節保育所

保育所の備品充実に協力したいとのことで、母の会の方たちが力を合わせて廃品の回収をやり、そのお金で電気オルガン一台を購入し、なお残った金一二、四〇九円をそっくり寄附して下さいました。子供たちや保母さんのうれしそうな顔をごらん下さい。お母さん方ありがとうございました。

佐渡弥彦国定公園弥彦地区観光診断隊に随行して

公民館　三部正彦

「八日から十二日まで、佐渡弥彦国定公園、弥彦地区（――とは内野の新川沿岸から寺泊分水沿岸を限る県道から西の弥彦山麓、海岸一帯の地域に、分水公園を加えて）を厚生省公園課の技官県観光課員が観光診断に巡るが一緒してはどうか日程はこれ」と村長にいわれ、得たり、これ幸と参加することにした。早速、九日、弥彦山頂から多宝山にかけて。十日は寺泊から舟で間瀬。銅山から弥彦山頂展望台下までの弥彦裏参道（今年村で開鑿計画中）の登山口の診断。午後は舟で角田岬燈台下まで。妙光寺浦浜農園の移転予定地、佐潟周辺をあるき。十一日は峰岡ゴルフ場から間瀬峠ごしで再び間瀬へ。下山（しもやま）の海水浴場の診断岩室では松岳山、天神山城址をあるいてまわり、翌十二日午後一時新潟白水荘で厚生技官を中心に、課長以下観光課員全部。それに関係地町村長、役場職員を加えた研究会に参加して話をきく機会を得たので、その時のノートから断片的に書いて見る。

㈠あるきながら厚生技官や観光課員から耳にした話。

(イ)観光課長――

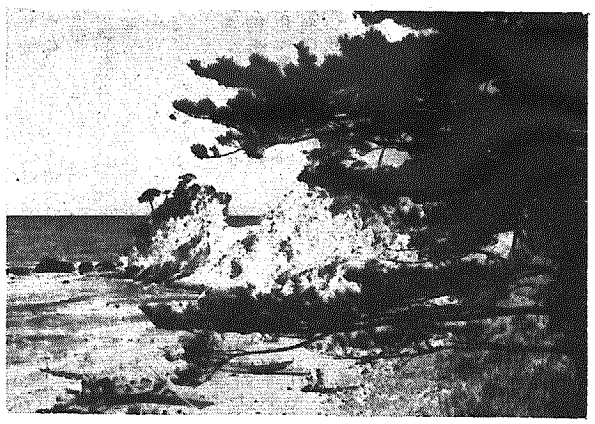
○弥彦裏山道の開鑿は早急実施したい。

○旧銅山事務所跡を何か観光施設としての利用方法を考えたい。

(ロ)技官、職員――

○間瀬下山（しもやま）海岸は海水浴場として理想的だ。早急に開発したい。築港のためにもその必要がある。それには道路を村道に認定して県費補助の対象とすること。バス乗入れを可能にするために一町歩程度公用地を用意すること。

○岩室の観光業者は、どうも観光感覚が古いようだが村当局の積極的指導と業者の大同団結が必要だと思う。



広く宣伝する価値ある白岩の絶景

○観光事業を業者まかせにして置く時代ではない。業者はシーズンが来ると、金もうけで精一ぱい。観光業務なんて考えるひまがない。役場や観光協会が強力な処はよく行なっている。

○松岳山――天神山城址――石瀬峠――多宝山頂……とハイキングコースを開けないか。

○岩室は弥彦地区内でもすぐれた観光資源が多いのに関心がきわめてうすいようだが何故か。

――いやどうも耳のいたかったこと、痛ったこと。――

(ハ)白水荘の診断研究会での話。一つ、二つ。

(イ)甲技官

○診断結果から七月中に施策を立案、官報で発表する県はこれを参考に施策するように。

○この地区は

ⓐ日本列島の中央部にあるⓑ関東（東京）から四、五時間の近距離にある。だから位置的にも重要度は高い

○町村を個々に見ても、弥彦地区にまとめてみても、裏日本の観光拠点としていい特性がある。

○まわってみて他の観光地にくらべて、住民の人情の暖さを感じた。温存すべき観光資源の一要素である。

○各町村で施策を立て、実施には県がバックアップするような行き方が望ましい。

(ロ)乙技官

○この地区は弥彦神社を中心に五〇KM半円中に百五十万の人口があり、現に年間百万の観光人口があるとき く。施設の如何では三百から四百万の観光人口は可能だと信ずる。

○すぐれたリクレーション地区として県外の観光人口を誘致する可能性は十二分にある。

○現在のこの地区の観光形態は古い。業者の感覚にもずれがあるように思う。例えば夏場の人集めだけに依存するといっただけではだめで、年中人の集まるように考えていくべきだなど。

㈢技官たちの基本的意見。

①「海」「山」をつなぐ基本ルートの開拓。

○海岸道路開鑿○海上ルート（観光船）の開発○県道の改修。

②山頂を基点としてT字形ルートの開拓。

○山頂と海浜○山頂と山麓部落○山頂を綴るスカイライン○之等と車道、歩道、ローブウイ、鉄路、バスとの連絡。

③海岸車道―間瀬寺泊線―改築をふくむ海岸地域の積極的な開発計画。

④観光企業の誘致。

⑤弥彦神社をキャッチフレーズとしての全地区一丸のPR計画の立案。

⑥国民休暇村設立の誘致運動。

⑦動植物鉱物地質等の教育センターとしての施策。

以上がその大体である。勿論ききもらしの点は容謝下さい。私は今、村民の各位に衆智を集めて観光事業の根本的施策を立てることも大切な村の仕事の一つであることを申し上げたい。

岩室村でも農薬の空中撒布

新潟県では昭和三十五年からヘリコプターによる農薬の空中撒布がなされ相当の効果をあげております。

岩室村では関係者が協議して今年ヘリコプターによる穂首いもちの防除を試験的に実施することになりました。

新しいこころみでありますので実施については農家の皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げます。

防除の経費は農家に御負担いただき一部を村及び農協等で補助致します。実施の水田は岩室和納地区の全水田を対象とし、ヘリコプター四機（全日空）がきて三日間で空中撒布を行います。

この事業をとり入れた主旨は労力の節減と一斉防除の徹底と防除作業の近代化をねらい、将来における農業構造改善に伴う農業近代化及び協業化に資するためのものです。

次に農薬空中撒布事業のあらましを述べましょう。

一、事業実施の主体

岩室村病害虫防除協議会

二、事業実施期間

七月二十四日二十五日二十六日（風の強い場合、雨天の場合は順延されます）

三、対象病害虫

穂首いもち

四、使用農薬名

フミロン粉剤三〇

五、事業実施面積

和納、岩室地区全水田面積約一、三八〇ヘクタール。住宅の近く或は地形上空中撒布できない箇所は部落でこの期間内に地上撒布で防除を行います。

六、ヘリコプター（一機）の農薬撒布の能力

①一回の薬剤積載量

一二〇～一五〇K

②一〇アール当り撒布量

二K

③一回の撒布面積

六～七・五ヘクタール

④一回の撒布時間

六～八分

⑤一日の作業実動時間

四～五時間（朝五時から一〇時迄空中撒布を行う）

⑥一日の撒布面積

一五〇～二〇〇ヘクタール

⑦飛行高度

三～六m

⑧飛行間隔

一八～二〇m

ヘリコプターの発着については農道を利用する。

七、危害防止対策

危害防止については万全を期する。尚くわしい計画ができるとみなさんにお知らせします。